

リレートーク
relay talk

党市議会議員
南畑 さち代



聴覚障害者に朗報 アイ・ドラゴン 設置実現！

今年3月の補正予算で、市役所とふれあいセンターに聴覚障害者への情報伝達手段としてアイ・ドラゴンが設置されました。

昨年の6月議会前に、姫田議員と私で和歌山県の聴覚障害者協会の方に災害時の問題などについて要望を聞かせて頂きました。そこで「アイ・ドラゴン」という情報伝達機器があり、「避難場所などに設置してほしい」と要望が出されました。

アイ・ドラゴンとは普段は普通のテレビですが、地震などの緊急時には非常に強い光を発しCS通信の緊急信号を受信し、手話や字幕で情報を伝える画面に変わるといった機器です。「目で聞くテレビ」とも言われています。実際に聴覚障害者協会の部屋には設置されており見せてもらいました。

6月議会で姫田議員と私が一般質問で、災害時の要援護者への支援として、福祉避難場所の指定など改善策を求め中、聴覚障害者用の情報伝達機器の設置も求めました。

市は「同じような障害の方が同じところで避難生活を送れるようにするなどの、障害の状況に応じた配慮が必要。それぞれのニーズに応じた効果的な情報伝達手段を講じられるよう、防災担当部局と協議し、取り組んでいく」と答弁していました。

やっと年度末の予算で設置されましたが、実際は2カ所では足りないし、障害のある方が安心して避難できる施策の充実が喫緊の課題です。引き続き拡充を求めてまいります。

のり子の週間予定

- 4月13日 市駅前いっせい宣伝、地域訪問、生活相談
- 14日 地域訪問
- 15日 地域訪問、
- 16日 地域訪問、砂山のつどい
- 17日 河西診療所デイボランティアア、つどい
- 18日 県議団会議、消費税増税反対宣伝、県党障害者部会
- 19日 地域訪問、県党社会保障部会

県会議員 奥村のり子の
しんぶん 赤旗読者ニュース
2012年4月15日 第36号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉の馬場1-11
電話&FAX 073-427-7121

「水俣病掘り起しは迷惑」と言う環境副大臣と 安全抜きの大飯原発再稼働は同じ発想では？

4月10日付、しんぶん赤旗1面に水俣病被害者の救済策に対し、「水俣病掘り起しは迷惑」と、環境省横光副大臣が暴言したことが載っていました。

2009年1月に人権・少子高齢化問題等特別委員会（当時）から、水俣病資料館に視察に行ったときのことや、日本共産党はすべての被害者を最高裁判決の水準で救済するために「法案大綱」を発表しています。

私は資料館に訪れたとき「水俣 胎児との約束」という1冊の本に吸い寄せられました。有機水銀による体内汚染の真実を追及した女性医師の記録です。

水俣病によって生まれたときから障害を受け、長くない人生を終えて亡くなっていた人々のことや、生まれなかった子どもたちのメッセージが綴られています。

今、福島原発事故の原因が何ひとつ究明されないもとで、政府の勝手な「安全基準」だけで関西電力大飯原発の再稼働を進めようとしています。安全抜きの拙速な対応は、原発事故の幕引きを図ろうとするものであり、水俣病問題と同じ発想です。大飯原発の再稼働をやめさせ、原発ゼロめざす運動こそ、多くの子どもの命のメッセージに答える道ではないでしょうか。



すし屋さんで見かけた風景

和歌山民主商工会員さんで、市小路の松ずしさん。カレンダーの裏を活用して俳句です。文字が読めますか？市職員のみならず市民まで思想調査、職員と教育基本条例…大阪の恐怖政治は入学式シーズンを迎えて、「君が代」斉唱で教職員の口元チェックや「手は横に気をつけ！」の姿勢まで押し付けるとか…。